

愛媛県立病院中期経営戦略の概要

公営企業管理局県立病院課

1 医療を取り巻く社会環境の変化

- (1) 2025年は、団塊の世代が75歳になる年
- (2) 県内の全ての圏域において、人口減少・高齢化が進展
- (3) 高齢者の増加に伴い、医療・介護需要が増大、慢性疾患や複数疾病を抱える患者の増加

○各医療圏域別人口減少率・高齢化率一覧

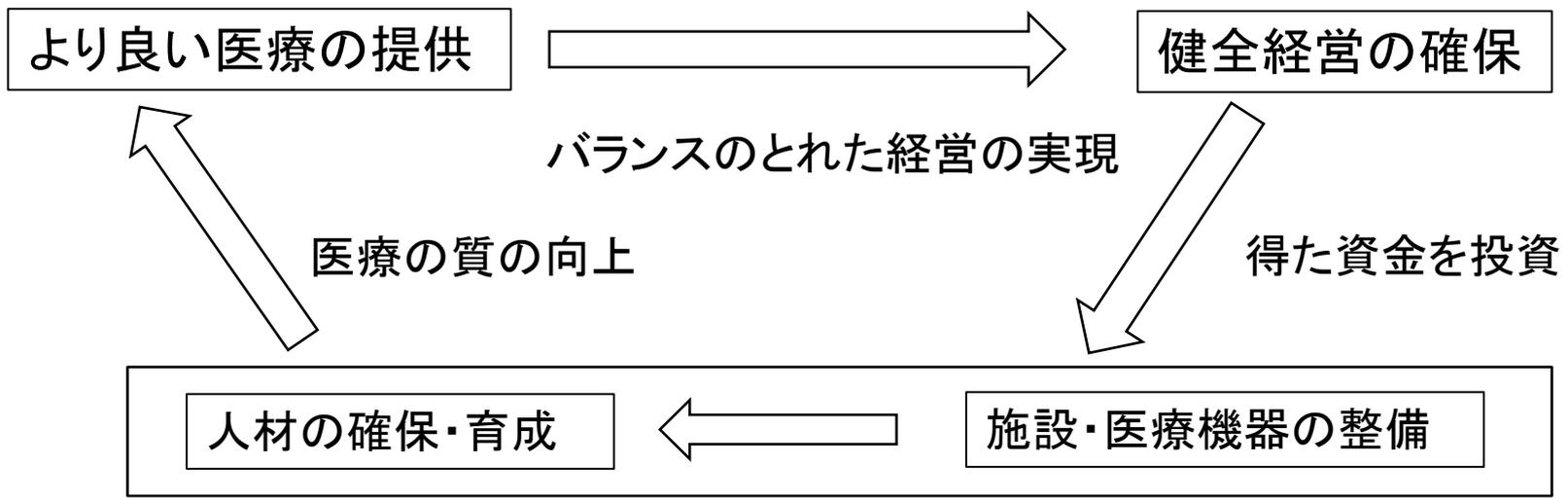
医療圏域名	人口減少率 (H22⇒H37)	高齢化率	
		H22(2010年)	H37(2025年)
宇 摩	11.9%	26.2%	34.8%
新居浜・西条	9.5%	27.0%	33.6%
今 治	15.6%	29.1%	37.2%
松 山	6.4%	23.1%	31.3%
八幡浜・大洲	21.4%	33.7%	42.7%
宇和島	21.4%	32.6%	43.3%

2 機能強化に向けた基本的な考え方

県立病院は、地域の中核病院として、「高度で良質な医療を安定的に供給するとともに、医療資源が質的・量的に不足する地域にあっては、これを補完することにより、県民医療の確保を図る」ことを使命とする。

このため、各病院に求められる機能を明確にし、各病院の機能に応じた人材の確保や適正配置、医療機器や施設の整備等を行うことで無駄な投資を省き、経営体質の強化を図る。

【経営方針】 健全経営の確保《よい経営の流れを創る》



3 県立病院の役割・機能

県立病院は、民間医療機関では対応が困難な、救急医療、周産期医療、災害医療など、政策的に実施すべき医療分野のほか、地域の中核病院として、心疾患や脳疾患等の急性期医療を提供する役割・機能を担っている。

○各病院の主な役割・機能一覧

中央病院	今治病院	南宇和病院	新居浜病院
<ul style="list-style-type: none"> ・高度救命救急センター 〈365日対応〉（県下全域） ・小規模二次救急病院 の後方支援病院 （松山圏域） ・小児救急輪番病院 （松山圏域） ・総合周産期母子医療 センター（県下全域） ・災害基幹拠点病院 （県下全域） 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次救急輪番病院 （今治圏域） ・小児救急輪番病院 （今治圏域） ・地域周産期母子医療セ ンター（今治圏域） ・災害拠点病院 （今治圏域） 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次救急病院 〈365日対応〉 （愛南地域） 	<ul style="list-style-type: none"> ・東予救命救急センター 〈365日対応〉（東予全域） ・二次救急病院 （新居浜・西条圏域） ・小児救急輪番病院 （新居浜・西条圏域、宇摩 圏域） ・地域周産期母子医療セ ンター （新居浜・西条圏域、宇摩 圏域） ・災害拠点病院 （新居浜・西条圏域）

4 機能強化に向けた基本的な方向性

- (1) 救急医療や周産期医療等の政策医療の強化
- (2) 地域医療機関等との連携強化及び機能分化の促進
- (3) 医師及び看護師等の確保・人材育成機能の強化
- (4) 4病院の連携促進等による機能強化
- (5) 施設の老朽化対策
- (6) 経営の効率化

5 各病院の目指すべき病院像と主な取り組み

(1) 中央病院

高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターを併設し、三次救急、周産期、小児の高度救急医療、がん、脳神経疾患、心臓疾患等の高度急性期医療や骨髄移植等の特殊医療を県民に提供する県下の基幹病院、及び県下における人材育成機能の中核病院



① 政策医療の強化

- ・ドクターヘリを活用した救急医療体制の強化
- ・地域周産期母子医療センター等との連携によるハイリスク妊産婦、早産児等への適切な対応
- ・専門的、先進的ながん医療の推進
- ・移植コーディネーターの育成や拠点病院セミナー開催等による医療関係者の育成
- ・ダ・ヴィンチ(医療ロボット)手術適用

②地域医療機関との連携強化

- ・地域医療連携室スタッフの確保・育成
- ・連携先病院等の訪問による営業力強化
- ・地域医療連携懇話会の開催等による積極的な情報発信
- ・人間ドック機能の縮小〈PETドックは当面継続〉

③医師及び看護師の確保・人材育成機能の強化

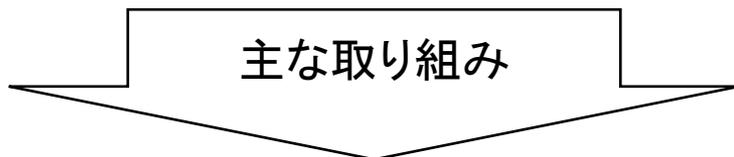
- ・臨床研修等を通じた人材育成機能の強化
- ・新たな専門医制度に対応した基幹研修施設としての機能強化及び医師派遣機能の強化
- ・新たな専門医制度に向けた指導医資格の積極的な取得
- ・職員の専門性の向上

④経営の効率化

- ・手術部機能の強化及び患者サポートセンターの設置
- ・適切な診療報酬請求事務の推進
- ・後発医薬品の使用拡大
- ・未収金対策の強化

(2) 今治病院

地域周産期母子医療センターを併設し、二次救急、周産期、小児の救急医療、脳血管疾患等の急性期医療を県民に提供する今治圏域の中核病院



① 政策医療の強化

- ・救急医療体制の2.5次救急化
- ・ドクターヘリ等を活用した中央病院や愛媛大学医学部附属病院との連携強化
- ・総合周産期母子医療センター(中央病院)との連携強化
- ・t-PAホットライン体制の充実・強化

② 地域医療機関との連携強化

- ・地域医療連携室スタッフの確保・育成
- ・連携先病院等の訪問による営業力強化
- ・地域包括ケア病棟の開設に向けた体制整備

③医師及び看護師の確保・人材育成機能の強化

- ・研修体制の充実、研修環境の整備による臨床研修医の確保
- ・新たな専門医制度に向けた指導医資格の積極的な取得
- ・院内保育所の開設に向けた検討等看護師の離職防止対策の強化
- ・職員の専門性の向上

④施設の老朽化対策

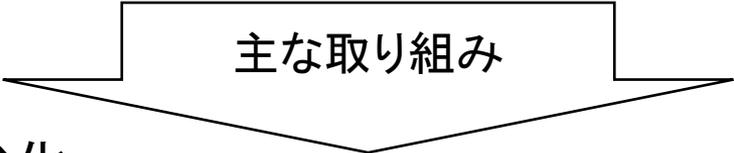
- ・建替えを含めた施設の老朽化対策及び患者のアメニティ向上策の検討

⑤経営の効率化

- ・DPC(包括医療費支払制度)導入に伴う診療の標準化、平均在院日数の短縮化等による診療単価のアップ
- ・地域包括ケア病棟の開設に向けた体制整備【再掲】
- ・適切な診療報酬請求事務の推進
- ・後発医薬品の使用拡大
- ・未収金対策の強化

(3) 南宇和病院

救急等の急性期医療から在宅医療(地域包括ケアシステム)の支援までを県民に提供する愛南地域の中核病院



主な取り組み

①政策医療の強化

- ・24時間救急医療体制の維持のため、継続した医師確保及び地元医師会等による応援体制の維持
- ・ドクターヘリを活用した救急医療体制の強化

②地域医療機関との連携強化

- ・市立宇和島病院の「きさいやネット」への参加
- ・地元患者の受入病院(後方ベットの役割)としての機能強化
- ・愛南町等と連携した地域包括ケアシステムの構築
- ・地域包括ケア病床の効率的な運営

③医師及び看護師の確保・人材育成機能の強化

- ・地域包括ケアシステムに必要な総合診療医や、新たな専門医制度に向けた指導医の確保

- ・在宅療養支援の強化等に向けた看護師の育成

④4病院の連携促進等による機能強化

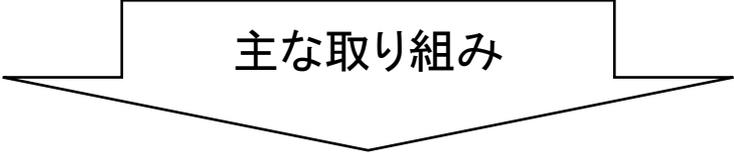
- ・中央病院のシステム更新に合わせた電子カルテシステムの導入検討
- ・遠隔医療の導入検討

⑤経営の効率化

- ・地域包括ケア病床の効率的な運営【再掲】
- ・適切な診療報酬請求事務の推進
- ・後発医薬品の使用拡大
- ・未収金対策の強化

(4)新居浜病院

救命救急センター、地域周産期母子医療センターを併設し、東予地域の三次救急機能や東予東部の周産期医療、小児救急医療を担うとともに、脳神経疾患、心臓疾患等の急性期医療や災害医療等を県民に提供する新居浜・西条圏域の中核病院



主な取り組み

①政策医療の強化

- ・整形外科再開に伴う診療機能や緊急手術への対応機能の強化
- ・ドクターヘリを活用した救急医療体制の強化
- ・総合周産期母子医療センター(中央病院)との連携強化

②地域医療機関との連携強化

- ・地域医療連携室スタッフの確保・育成
- ・連携先病院等の訪問による営業力強化
- ・地域の医療機関との研修会等の充実

③医師及び看護師の確保・人材育成機能の強化

- ・研修体制の充実、研修環境の整備による臨床研修医の確保
- ・新たな専門医制度に向けた指導医資格の積極的な取得
- ・脳卒中患者・外傷患者等に対するリハビリテーション提供体制の強化
- ・職員の専門性の向上

④施設の老朽化対策

- ・建替えを含めた整備基本計画の早期策定及び設計、施工

⑤経営の効率化

- ・新規入院患者確保に向けた仕組みづくり
- ・DPC(包括医療費支払制度)導入に伴う診療の標準化、平均在院日数の短縮化等による診療単価のアップ
- ・整形外科再開に伴う手術件数の増加による診療単価のアップ
- ・適切な診療報酬請求事務の推進
- ・後発医薬品の使用拡大
- ・未収金対策の強化